

人と自然が共生し
豊かな環境を守り
活かすまち
朝来市



 朝来市
2025 年 3 月

上のイラストは、本市の望ましい環境像の実現に向けての5つの基本目標を表しています。

本市のかけがえのない環境を、将来世代へつないでいくために、
自分が今できることを考え、みんなで積極的に行動していきましょう！！

計画の概要

第4次朝来市環境基本計画とは

- 「第4次朝来市環境基本計画」は、「朝来市生活環境保全条例」に位置づけられた計画であり、本市の最上位計画である「第3次朝来市総合計画」を、環境面から総合的かつ計画的に推進するための計画です。
- 上位計画となる国の「第六次環境基本計画」や「第6次兵庫県環境基本計画」の内容を踏まえるとともに、本市の関連計画との整合を図りつつ、本市が展開する環境施策や、市民・事業者の環境に配慮した取組に関する基本的な方向性を示しています。

計画の期間

- 計画の期間は、2025年度から2034年度までの10年間とします。
- ただし、今後の環境を取り巻く動向の変化等に的確に対応していくため、2030年度を目処に必要な応じて計画の見直しを行います。

望ましい環境像

- 望ましい環境像とは、本市がこれからどのような環境を目指していくかを分かりやすく表現したキャッチフレーズであり、本市・市民・事業者が共有する長期的な目標です。
- 本市の強みである「自然」をベースに、環境保全によるウェルビーイング（高い生活の質）を実現するため、「第3次朝来市総合計画」が掲げる将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち～対話で拓く朝来市の未来～」を目指し、以下に示すとおり設定します。

人と自然が共生し 豊かな環境を守り活かすまち 朝来市

計画の推進体制・進行管理

- 計画の着実な推進を図るためには、本市・市民・事業者・市民団体が果たすべき役割を理解し、連携・協働して取り組んでいくことが重要です。
- そのため、本市が取組を先導するとともに、取組の進捗状況の報告・点検・改善案の調整を毎年度行い、その結果を「朝来市環境審議会」に報告・評価することで、計画の実効性を確保します。
- また、計画の進行管理は、「Plan【計画】」⇒「Do【実施】」⇒「Check【点検・評価】」⇒「Action【改善・見直し】」の4つのプロセスを繰り返すPDCAサイクルの考え方に基いて行います。



望ましい環境像の実現に向けた取組

- 望ましい環境像の実現に向けて、「脱炭素」、「自然共生」、「資源循環」、「健全・快適」、「共創力」の 5 つの環境区分ごとに基本目標及び目標指標^{※1}を設定し、13 の基本施策を展開していきます。
- 市民・事業者の皆さんに取り組んでいただきたいことを以下に例示していますので、**みんなで積極的に行動していきましょう！！**

※1：目標指標及びその目標値等は、「第3次朝来市総合計画」から引用しています。

基本目標 1【脱炭素】

脱炭素（カーボンニュートラル）の実現に向けて、人と地球にやさしいまちをつくります

目標指標

省エネ等の環境にやさしいまちづくりが進められていると感じる市民の割合

基準値（2020 年度）
12.5%

現状値（2023 年度）
18.2%

目標値（2029 年度）
16.5%



基本施策

基本施策 1 省エネルギー対策の推進

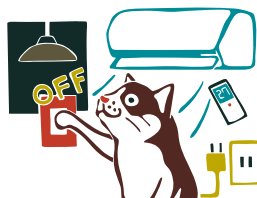
基本施策 2 再生可能エネルギーの導入拡大

基本施策 3 脱炭素型まちづくりの推進

基本施策 4 気候変動影響への適応

市民・事業者に期待される取組（例示）

省エネ行動を実践しましょう。



電気やガス等の使用量をチェックしましょう。



エコドライブを実践しましょう。



省エネルギー性能の高い製品を選択しましょう。



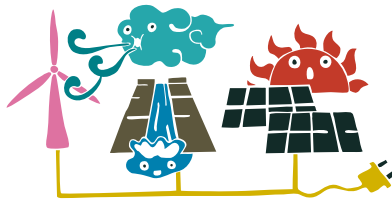
ZEH・ZEB^{※2}を選択しましょう。



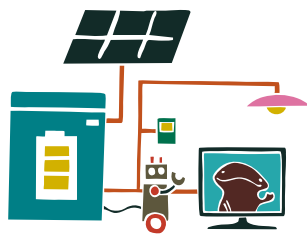
うちエコ診断等を活用しましょう。



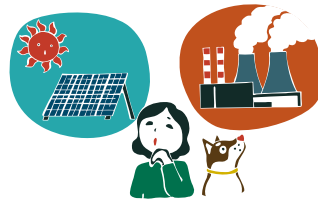
再生可能エネルギー設備を導入しましょう。



蓄電池を導入しましょう。



再生可能エネルギー比率の高い電力を選択しましょう。



※2：ZEHは「Net Zero Energy House」、ZEBは「Net Zero Energy Building」の略称です。年間でのエネルギー収支をゼロにすることを目指した建築物のことです。

徒歩や自転車、公共交通機関
を利用して移動しましょう。



ハイブリッド自動車や電気自動車
を選択しましょう。



置き配（宅配便）を実践しまし
よう。



デマンド型乗合交通を利用しまし
よう。



熱中症を予防しましょう。



ハザードマップを確認しましょう。



基本目標 2【自然共生】

自然再興（ネイチャーポジティブ）の実現に向けて、誇るべき豊かな自然を
守り活かすまちをつくります

目標指標

自然環境保全の取組が進められていると感じる市民の割合

基準値（2021 年度）
35.9%



現状値（2023 年度）
31.7%



目標値（2029 年度）
39.9%



基本施策

基本施策 1 生物多様性の保全

基本施策 2 森林の保全

基本施策 3 農地の保全

市民・事業者期待される取組（例示）

自然観察会や動植物の保護活動
に参加・協力しましょう。



外来生物を森林や河川に放す
ことは絶対にやめましょう。



森林の保全・再生活動に参加・
協力しましょう。



薪・ペレットストーブを導入しまし
よう。



地場農産物を購入・利用しまし
よう。



有害鳥獣による農林業被害の
防止に向けて取り組みましょう。



基本目標 3【資源循環】

循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向けて、ごみを減らして資源が循環するまちをつくります

目標指標

1人1日当たりのごみ排出量（家庭系ごみ）

基準値（2019年度）
567g/人・日

現状値（2023年度）
562g/人・日

目標値（2029年度）
567g/人・日



基本施策

基本施策 1 3R（スリーアール）+ Renewable（リニューアブル）の推進

3R（スリーアール）とは、リデュース（Reduce：発生抑制）、リユース（Reuse：再使用）、リサイクル（Recycle：再生利用）の頭文字をとった3つのアクションの総称です。また、Renewable（リニューアブル）とは、バイオマス化や再生材利用などの再生可能な資源を活用する取組のことです。

基本施策 2 ごみの適正処理の推進

市民・事業者 zu 期待される取組（例示）

生ごみの水切りの徹底や堆肥化に取り組みましょう。



食材の食べきりや使いきりによって食品ロスを削減しましょう。



フードドライブ活動への協力等によって食品ロスを削減しましょう。



使い捨てプラスチック製品の使用を控えましょう。



フリーマーケットへの参加やフリマアプリの利用に取り組みましょう。



ごみの分別やごみ出しのルールを守りましょう。



資源物の店頭回収や資源集団回収活動に協力しましょう。



ごみの不法投棄やポイ捨ては絶対にやめましょう。



不法なごみの野外焼却は絶対にやめましょう。



基本目標 4【健全・快適】

健全で快適に生活できる良好な環境が確保されたまちをつくります

目標指標

道路や公園にごみが目立つと感じる市民の割合

基準値（2020 年度）
18.4%



現状値（2023 年度）
22.0%



目標値（2029 年度）
14.4%



基本施策

基本施策 1 健全な生活環境の保全

基本施策 2 快適な生活環境の形成

市民・事業者 zu 期待される取組（例示）

下水道に油や野菜くず、異物を流さないようにしましょう。



公園や緑地の維持管理活動に参加・協力しましょう。



所有する住宅や土地を適正に維持管理しましょう。



基本目標 5【共創力】

一人ひとりが環境について考え、みんなで環境保全に取り組むまちをつくります

目標指標

環境学習に関するイベントに参加したことがある市民の割合

基準値（2021 年度）
5.5%



現状値（2023 年度）
8.2%



目標値（2029 年度）
9.5%



基本施策

基本施策 1 環境学習・環境教育の推進

基本施策 2 環境保全活動の推進

市民・事業者 zu 期待される取組（例示）

地域の環境学習の場に参加しましょう。



環境情報を収集し、環境に配慮した取組を実践しましょう。



地域の環境保全活動に参加・協力しましょう。

